

新 旧 対 照 表

新	旧
<p>1～3 【略】</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>【中略】</p> <p>(目標1) 林道整備による林業の振興と地域環境の改善 (間伐実施面積の増加 約2.9%)</p> <p>【中略】</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>林道清水上湯川線の整備により、国道371号からしみず温泉、各種体験施設へのアクセスが改善される。また、「林道板尾沼谷線」・「中原三瀬川線」・「林道大蔵沼谷線」を併せて整備することにより、本区域北東・南西部に広がる森林へのアクセスが確保され、森林施業の効率化と間伐遅れとなっている森林の整備が促進されるとともに、林産物の搬出経路の通行の安全性の確保が図られ、林業経営の安定化にもつながるものである。</p> <p>【中略】</p> <p>(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p><u>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</u></p> <p><u>市町村道：道路法に規定する市町村道に昭和63年9月22日に認定済み。</u></p> <p><u>林道：森林法による紀中地域森林計画(平成13年4月1日樹立)に路線を記載</u></p> <p>【施設の種類(事業区域)、実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none">・町道 (有田川町の区域の一部)・林道 (有田川町の区域の一部) 和歌山県・林道 (有田川町の区域の一部) 有田川町	<p>1～3 【略】</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>【中略】</p> <p>(目標1) 林道整備による林業の振興と地域環境の改善 (間伐実施面積の増加 約2.1%)</p> <p>【中略】</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業</p> <p>(5-1) 全体の概要</p> <p>林道清水上湯川線の整備により、国道371号からしみず温泉、各種体験施設へのアクセスが改善される。また、「林道板尾沼谷線」を併せて整備することにより、本区域東部に広がる森林へのアクセスが確保され、森林施業の効率化と間伐遅れとなっている森林の整備が促進されるとともに、林産物の搬出経路の通行の安全性の確保が図られ、林業経営の安定化にもつながるものである。</p> <p>【中略】</p> <p>(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p>【施設の種類(事業区域)、実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none">・町道 (有田川町の区域の一部) 有田川町 認定済み・林道 (有田川町の区域の一部) 和歌山県 地域森林計画に搭載済み・林道 (有田川町の区域の一部) 有田川町 地域森林計画に搭載済み

[事業期間]

- ・町道 (平成17～21年度)
- ・林道 (平成17年度)
- ・林道 (平成17～21年度)

[整備量及び事業費]

- ・町道 L = 1,340m
- ・林道 L = 626m
- ・林道 L = 16,629m

・総事業費 1,812,000千円

- 町道 800,000千円 (うち交付金 400,000千円)
- 林道 94,000千円 (うち交付金 47,000千円)
- 林道 918,000千円 (うち交付金 441,000千円)

【中略】

6～8 【略】

[事業期間]

- ・町道 (平成17～21年度)
- ・林道 (平成17年度)
- ・林道 (平成17～20年度)

[整備量及び事業費]

- ・町道 L = 1,340m
- ・林道 L = 626m
- ・林道 L = 13,450m

・総事業費 12億7千3百万円

- 町道 8億円 (うち交付金 4億円)
- 林道 1億2千5百万円 (うち交付金 6千2百5十万円)
- 林道 3億4千8百万円 (うち交付金 1億5千6百万円)

【中略】

6～8 【略】